

## **新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 流行時における外科治療の実施状況調査 研究の概要：**

WHO(世界保健機関)より新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) のパンデミックが宣言され、日本でも緊急事態宣言が発令され、全国的にこれまで経験したことのない状況に陥りました。不要不急の外出が制限され、病院では外来受診者の減少や予定手術の延期など、COVID-19 に対する治療以外でも医療状況に大きな変化をもたらしています。一方で救急医療は制限することはできず、救急外科治療においても継続的に対応できるような体制構築をしていく必要があります。

COVID-19 パンデミックはこれまでに経験のない事象であり、この間に行った診療について検証することは、第 2 波を含めたさらなる感染症流行に対する体制構築において重要と考えられます。

### **研究対象：**

2019 年 3 月から 2021 年 3 月までに、相澤病院外科センターにて手術治療を実施した患者さんを対象とします。

### **研究の意義：**

COVID-19 パンデミックはこれまでに経験のない事象であり、この間に行った診療について検証することは、第 2 波を含めたさらなる感染症流行に対する体制構築において重要と考えられます。

### **研究の目的：**

本研究は、COVID-19 パンデミック期間中に病院で行った外科治療について、前年同時期の状況と比較することで、COVID-19 による影響について検証することを目的としています。

### **研究の方法および内容：**

相澤病院の診療録データベースを利用して、診療録より必要な情報(患者背景、臨床経過、手術所見、術後経過)を収集し、統計学的な解析を行います。情報収集の作業に当たっては医師がこれを行います。

### **個人情報に関する配慮：**

人体から採取された試料ではなく、診療録を主とした既存資料を研究に用います。閲覧する診療録には個人情報が含まれますが、患者さん個人が特定されないやり方で情報を収集します。対象となる患者さんの識別は本研究専用で別

途割り振られた研究番号を使って管理し、個人情報が出ることはありません。患者さん等からのご希望があれば、その方の診療録は研究に利用しないようにしますので、いつでも次の連絡先まで申し出てください。

研究代表者（本研究全体の責任者）：

〒390-8510 長野県松本市本庄 2-5-1

社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院 外科センター 西田保則

TEL 0263-33-8600 / FAX 0263-32-6763